



2025年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年2月13日

上場会社名 黒田グループ株式会社 上場取引所 東
コード番号 287A URL <https://www.kuroda-group.com/hd/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細川 浩一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務統括 (氏名) 奥田 善之 TEL 03-6685-5115
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	91,695	△6.3	4,721	432.3	4,589	—	3,523	—	3,473	—	5,152	900.1
2024年3月期第3四半期	97,866	—	887	—	145	—	△672	—	△380	—	515	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	81.81	81.81
2024年3月期第3四半期	△8.68	△8.68

(注) 当社は2024年9月21日付で株式1株につき10株の割合で株式分割を、2024年10月18日付で株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「基本的1株当たり四半期利益」及び「希薄化後1株当たり四半期利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	103,252	40,636	39,466	38.2
2024年3月期	98,316	35,264	34,144	34.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	121,000	△4.5	5,900	197.8	5,600	379.5	3,700	—	3,650	865.8	85.98

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は2024年9月21日付で株式1株につき10株の割合で株式分割を、2024年10月18日付で株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の連結業績予想における「基本的1株当たり当期利益」については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	46,568,020株	2024年3月期	46,568,020株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	4,118,040株	2024年3月期	4,118,040株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	42,449,980株	2024年3月期3Q	43,782,727株

(注) 当社は2024年9月21日付で株式1株につき10株の割合で株式分割を、2024年10月18日付で株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧米における金融の引き締め政策の継続や中国における景気停滞、各国の政治情勢・通商政策の変化、ウクライナ情勢、中東地域での地政学リスク等、景気の変動要因に引き続き注視していく必要があるものの、総じて持ち直しの動きが続いております。

このような経営環境のもと、当社グループでは、常に10年先を見据え、経営における基本方針である「やるべきことを“さらに”しぼりこみ、価値をあげる」の下、当社グループから取引先へお届けする製商品やサービスの付加価値が事業を継続させていただく源泉であると考え、各国・地域における取引先ニーズに迅速に対応するための事業基盤構築に向けた取組みを推進しております。加えて、取引先へ安全・安心を提供するITセキュリティ体制の担保を継続し、製造DX等のデジタル戦略、各事業の既存保有技術を活かし、更なる価値の創造に必要な技術を開発するための技術戦略にも取り組んでおります。

また、各国・地域における事業環境の変化に対して、より柔軟かつ機動的に対応し、当社グループの持続的な成長、企業価値の向上に繋げていくため、新たな3ヵ年経営計画（2026年3月期～2028年3月期）の策定を準備しております。

このような状況下で、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上収益は916億95百万円（前年同期比6.3%減）、営業利益は47億21百万円（前年同期比432.3%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は34億73百万円（前年同期は親会社の所有者に帰属する四半期損失3億80百万円）となりました。

なお、前第3四半期連結累計期間では、当社製造子会社の事業譲渡に伴う損失18億80百万円と固定資産、のれんに係る減損損失20億24百万円を計上しております。このため、当第3四半期連結累計期間の営業利益は前第3四半期連結累計期間比で増加しております。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

<製造>

生産財（顧客の生産工程に資する製品・サービスを提供）：

液晶用配光膜印刷版事業においては、主に中国でのシェアアップの取り組みが奏功しはじめ、中国の液晶メーカーへの売上が増加いたしました。自動化設備事業では、液晶用配光膜印刷版製造装置の内製化に取り組んでいる一方で、主要事業領域のハードディスクドライブの市況が回復しているものの、主要顧客における増産等の設備投資までには至らず、自動化設備の売上が大幅に減少いたしました。

回路設計・受託開発事業においては、自動車関連の回路設計の売上が好調に推移いたしました。

自動車用樹脂成形金型事業においては、主要顧客での開発延期等の理由から金型の売上が大幅に減少いたしました。

直材（顧客の生産に必要な部品・サービスを提供）：

ハードディスクドライブ部品事業においては、生成AIの普及に伴うデータセンター用ニアラインモデルのハードディスク・ドライブの生産台数増加を背景に、シール・ラベル、フィルター製品を中心とした各種部品の売上が大幅に増加いたしました。

電力・電設資材事業においては、現場施工の人員不足が顕在化しつつあるものの、電設業界の需要は底堅く、各種資材の売上は前年並みで推移いたしました。

アルミダイカスト事業では、産業用モーター用のアルミダイカスト製品の売上が好調に推移いたしました。

この結果、製造事業の売上収益は215億36百万円、営業利益は31億28百万円、営業利益率14.5%となりました。

< 商社 >

車載（特定の顧客へグローバルにサービスを提供）：

車載事業は、日系自動車メーカーでの品質不正問題やリコールによる生産・出荷停止や中国の市場での苦戦等の影響があるものの、プリント基板含む電子部品及び樹脂材料において、売上が堅調に推移いたしました。

地域（各国・地域の顧客へカスタマイズしたサービスを提供）：

EV市場の停滞による足元でのEV用車載部品の落ち込みはあるものの、1次・2次電池用材料の売上が好調に推移いたしました。一方で、中国の景気減速に伴う中国内での生産調整の長期化により各種部材の売上が全般的に減少したことに加え、国内におけるアミューズメント・FA用の中小型液晶の生産減、FA機器関連部材の在庫調整の長期化で各種部材の売上が減少いたしました。

この結果、商社事業の売上収益は701億59百万円、営業利益は26億24百万円、営業利益率3.7%となりました。

上記各セグメントの営業損益のほかに、各セグメントに帰属しない全社費用等10億31百万円があります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は1,032億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ49億36百万円の増加となりました。電力・電設資材事業の新工場建設等に伴う有形固定資産の増加17億65百万円、四半期利益等の計上に伴う現金及び現金同等物の増加23億42百万円が主な要因です。

負債合計は626億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億37百万円の減少となりました。

資本合計は406億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億72百万円の増加となりました。四半期利益等による利益剰余金38億93百万円の増加と外貨換算差額14億8百万円の増加が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期（2024年4月1日から2025年3月31日）の連結業績見通しにつきましては、2024年12月17日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	15,144	17,486
営業債権及びその他の債権	31,657	33,232
棚卸資産	11,633	11,168
その他の金融資産	275	104
その他の流動資産	1,373	1,398
流動資産合計	60,083	63,388
非流動資産		
有形固定資産	13,588	15,353
使用権資産	735	592
のれん	19,059	19,063
無形資産	2,056	1,931
その他の金融資産	1,864	1,993
繰延税金資産	524	501
その他の非流動資産	408	432
非流動資産合計	38,233	39,864
資産合計	98,316	103,252

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	25,183	26,127
借入金	31,315	7,321
リース負債	408	343
未払法人所得税	473	922
その他の金融負債	384	735
その他の流動負債	2,914	2,712
流動負債合計	60,677	38,161
非流動負債		
借入金	—	22,062
リース負債	480	368
退職給付に係る負債	756	875
繰延税金負債	986	1,089
その他の非流動負債	152	61
非流動負債合計	2,375	24,455
負債合計	63,052	62,615
資本		
資本金	11,642	11,642
資本剰余金	11,971	11,971
利益剰余金	9,351	13,244
自己株式	△3,000	△3,000
その他の資本の構成要素	4,180	5,609
親会社の所有者に帰属する持分合計	34,144	39,466
非支配持分	1,120	1,170
資本合計	35,264	40,636
負債及び資本合計	98,316	103,252

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上収益	97,866	91,695
売上原価	84,998	75,536
売上総利益	12,868	16,159
販売費及び一般管理費	11,169	11,311
その他の収益	866	84
その他の費用	1,679	211
営業利益	887	4,721
金融収益	90	577
金融費用	832	710
税引前四半期利益	145	4,589
法人所得税費用	818	1,066
四半期利益(△損失)	△672	3,523
四半期利益(△損失)の帰属		
親会社の所有者	△380	3,473
非支配持分	△292	50
四半期利益(△損失)	△672	3,523
1株当たり四半期利益(△損失)		
基本的1株当たり四半期利益(△損失)(円)	△8.68	81.81
希薄化後1株当たり四半期利益(△損失)(円)	△8.68	81.81

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
四半期利益(△損失)	△672	3,523
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△0	△1
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金 融資産の変動	18	229
純損益に振り替えられることのない項目合計	18	228
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動	85	△7
在外営業活動体の換算差額	1,084	1,408
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	1,170	1,401
税引後その他の包括利益	1,187	1,629
四半期包括利益	515	5,152
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	818	5,102
非支配持分	△303	50
四半期包括利益	515	5,152

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					新株 予約権	確定給付 制度の再 測定	その他の 包括利益 を通じて 公正価値 で測定す る金融資 産の変動
2023年4月1日残高	11,642	12,359	8,972	—	144	—	334
四半期損失			△380				
その他の包括利益						△0	18
四半期包括利益合計	—	—	△380	—	—	△0	18
自己株式の取得				△3,000			
配当							
株式報酬取引			9		83		
その他の資本の構成要素から利 益剰余金への振替			18			0	△18
支配継続子会社に対する持分変 動		△388					
所有者との取引額合計	—	△388	27	△3,000	83	0	△18
2023年12月31日残高	11,642	11,971	8,619	△3,000	226	—	334

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	キャッシ ュ・フロ ーヘッジ の公正価 値の変動	在外営業活 動体の換算 差額	合計			
2023年4月1日残高	△55	1,223	1,646	34,619	996	35,615
四半期損失			—	△380	△292	△672
その他の包括利益	85	1,095	1,198	1,198	△11	1,187
四半期包括利益合計	85	1,095	1,198	818	△303	515
自己株式の取得			—	△3,000		△3,000
配当			—	—		—
株式報酬取引			83	92		92
その他の資本の構成要素から利 益剰余金への振替			△18	—		—
支配継続子会社に対する持分変 動			—	△388	388	—
所有者との取引額合計	—	—	65	△3,296	388	△2,908
2023年12月31日残高	30	2,318	2,909	32,141	1,081	33,222

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					新株 予約権	確定給付 制度の再 測定	その他の 包括利益 を通じて 公正価値 で測定す る金融資 産の変動
2024年4月1日残高	11,642	11,971	9,351	△3,000	257	—	510
四半期損失			3,473				
その他の包括利益						△1	229
四半期包括利益合計	—	—	3,473	—	—	△1	229
自己株式の取得							
配当							
株式報酬取引			349		△129		
その他の資本の構成要素から利 益剰余金への振替			71			1	△71
所有者との取引額合計	—	—	420	—	△129	1	△71
2024年12月31日残高	11,642	11,971	13,244	△3,000	128	—	668

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	キャッシ ュ・フロ ーヘッジ の公正価 値の変動	在外営業活 動体の換算 差額	合計			
2024年4月1日残高	△55	3,468	4,180	34,144	1,120	35,264
四半期損失			—	3,473	50	3,523
その他の包括利益	△7	1,408	1,629	1,629	—	1,629
四半期包括利益合計	△7	1,408	1,629	5,102	50	5,152
自己株式の取得			—	—		—
配当			—	—		—
株式報酬取引			△129	220		220
その他の資本の構成要素から利 益剰余金への振替			△71	—		—
所有者との取引額合計	—	—	△200	220	—	220
2024年12月31日残高	△62	4,876	5,609	39,466	1,170	40,636

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	145	4,589
減価償却費及び償却費	2,154	1,795
減損損失	3,420	—
支払利息	313	377
認識の中止を伴わない金融負債の条件変更から生じる 利得及び損失(△は益)	—	△467
子会社株式売却損益(△は益)	△285	—
固定資産売却損益(△は益)	△523	△23
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△1,805	△1,466
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,894	662
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	4,290	1,079
未収消費税等の増減額(△は増加)	△72	△46
その他の金融負債の増減額(△は減少)	294	338
その他	△310	△92
小計	9,514	6,745
利息及び配当金の受取額	90	107
利息の支払額	△314	△193
法人所得税の支払額又は還付額	△1,908	△594
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,383	6,066
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△870	△2,475
有形固定資産の売却による収入	814	25
無形資産の取得による支出	△227	△200
投資有価証券の売却による収入	289	208
その他	△72	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65	△2,473
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	116	5,000
長期借入による収入	—	25,000
長期借入金の返済による支出	△1,100	△31,451
リース負債の返済による支出	△513	△389
自己株式の取得による支出	△3,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,498	△1,840
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,820	1,753
現金及び現金同等物の期首残高	10,209	15,144
現金及び現金同等物に係る換算差額	333	589
売却目的保有資産に含まれる現金及び現金同等物の増減 額	△713	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,649	17,486

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメント

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、提供するサービスの性質により「製造」「商社」として区分し、当社および当社の連結子会社を設置して、各々が独立した経営単位として、国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。また、当社が「製造」「商社」を包括的・横断的に統括し管理することとしております。

従って、当社グループは、その2つの事業セグメントを報告セグメントとしております。各報告セグメントの主な事業内容は以下のとおりであります。

報告セグメント	製造	商社
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none">・精密組立・各種自動化設備の製造及び販売・液晶用特殊印刷版の製造及び販売・電子回路設計／基板設計の受託開発及び販売・自動車向け大型樹脂成形金型の製造及び販売・ハードディスクドライブ用部品の製造及び販売・電設関連資材の製造及び販売・産業モーター用アルミダイカスト製品の製造及び販売	<ul style="list-style-type: none">・主に自動車業界やエレクトロニクス業界の販売先に対して、電子部品や電気材料等を販売・日本・海外の販売先に対して、グループネットワークを活用し、それぞれの国・地域でのニーズに合わせた商品の販売

(2) セグメント収益及び業績

前第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

(単位：百万円)

	製造	商社	合計	調整額 (注) 2	連結
売上収益					
外部顧客への売上収益	23,005	74,861	97,866	-	97,866
セグメント間の売上収益 (注) 1	1,114	297	1,411	△1,411	-
計	24,119	75,158	99,277	△1,411	97,866
セグメント利益 (△損失)	△501	2,734	2,232	△1,346	887
金融収益					90
金融費用					832
税引前四半期利益					145

(注) 1. セグメント間の売上収益は、市場の実勢価格等に基づいて計上しております。

2. 調整額には、主にセグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(固定資産に係る重要な減損損失)

前第3四半期連結累計期間において、「製造」セグメントにおいて2,295百万円の減損損失を認識し、要約四半期連結損益計算書の売上原価と販売費及び一般管理費に計上しております。

(のれんに係る重要な減損損失)

前第3四半期連結累計期間において、「製造」セグメントにおいて、のれんの減損損失1,040百万円を計上しております。また、全社費用として85百万円を計上しております。なお、当該減損損失は要約四半期連結損益計算書のその他の費用として計上しております。

当第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

（単位：百万円）

	製造	商社	合計	調整額 (注) 2	連結
売上収益					
外部顧客への売上収益	21,536	70,159	91,695	—	91,695
セグメント間の売上収益 (注) 1	1,325	221	1,546	△1,546	—
計	22,861	70,380	93,242	△1,546	91,695
セグメント利益（△損失）	3,128	2,624	5,752	△1,031	4,721
金融収益					577
金融費用					710
税引前四半期利益					4,589

(注) 1. セグメント間の売上収益は、市場の実勢価格等に基づいて計上しております。

2. 調整額には、主にセグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。